

(参考様式2)

## 事前点検シート

計画主体名	栃木県日光市、栃木県		
計画期間 実施期間	H25 ~ H27 H25 ~ H26	総事業費（交付金）	99,500千円（49,750千円）

### 1 計画全体について

項目	チェック欄	判断根拠
目標及び事業活用活性化計画目標が、農山漁村の活性化のための定住等及び地域間交流の促進に関する法律及び同法に基づき国が策定する基本方針と適合しているか	適	活性化計画目標は定住化の促進、事業活用活性化計画目標は農業用施設機能の確保であるので、ともに法律第1条、第3条及び基本方針に適合している。
市町村総合計画、農業振興地域整備計画、土地改良事業計画、森林・林業基本計画、特定漁港漁場整備事業計画その他各種関連制度・施策との連携、配慮、調和等が図られているか	適	日光市総合計画後期基本計画に基づいている。
活性化計画及び交付対象事業別概要は関係農林漁業者をはじめとした地域住民等の合意形成を基礎としたものになっているか	適	日光市土地改良区通常総会で議案の承認を得て、陳情書が市へ提出されており、事業地区の関係農業者の合意形成が図られている。
活性化計画の策定にあたり、女性の意見や提案などを聞く機会を設けているか	適	日光市土地改良区総会の中で、女性組合員の意見を聞く機会を設けている。
事業の推進体制は確立されているか	適	事業主体である日光市と維持管理予定者である日光市土地改良区で随時協議し、事業を推進している。
目標及び事業活用活性化計画目標と事業内容の整合性が確保されているか	適	活性化計画目標である定住化促進のために、当地域において基盤整備は不可欠であり、整合性は確保されている。
計画期間・実施期間は適切か	適	計画期間は事業内容を考慮して3年間に設定したもので適切である。実施期間は過去の施工実績等より標準的な工期であり、関係受益者との協議に基づき設定したもので適切である。
交付金要望額は交付限度額（事業費×国費率）の範囲内か	適	事業費99,500千円の補助率1/2により交付限度額49,750千円の範囲内である。

2 個別事業について

項 目	チェック欄	判 断 根 拠
自力若しくは他の助成によって実施中又は既に完了した施設等を本交付金に切り替えて交付対象とするものでないか	適	今回新規に取り組む農業用排水施設整備事業（パイプライン）である。
増改築等若しくは合体又は古材を利用した施設整備を行う場合は、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要領に定める基準を満たしているか	－	該当なし
交付対象とする施設等は減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第34号）別表等による耐用年数がおおむね5年以上のものであるか	適	減価償却資産の耐用年数等に関する省令により主要施設の耐用年数は5年以上である。（配水管：30年[別表第一/鑄鉄製のもの]、汎用ポンプ：7年[別表第六/機械及び装置/金属製のもの/、配水管：10年[別表第一/合成樹脂製のもの]）
事業による効果の発現は確実に見込まれるか		
費用対効果分析の手法は適切か（農山漁村活性化プロジェクト支援交付金費用対効果算定要領（平成19年8月1日付け19企第106号農林水産省大臣官房長通知）により適切に行われているか）	適	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金における費用対効果算定要領に基づいて算定している。
上記の費用対効果分析による算定結果が1.0以上となっているか	適	投資効率 = 1.35
事業内容、事業実施主体等については実施要領等に定める要件等を満たしているか	適	事業内容は農業用排水施設、事業実施主体は日光市で、受益面積は85.6haであり、日光市土地改良区が今後も保全管理するため、実施要領等に定める要件等を満たしている。
個人に対する交付ではないか、また目的外使用のおそれがないか	適	事業主体は日光市であり、個人に対する交付ではない。完成施設は従前より維持管理している日光市土地改良区の維持管理計画にて目的外使用禁止とする。
施設等の利活用の見通し等は適正か。		
地域間交流の拠点となる施設にあっては当該地区の入り込み客数や都市との交流状況（現状と今後の見込み）を踏まえているか	－	該当なし
近隣市町村の類似施設等の賦存状況と利用状況等を踏まえているか。	－	該当なし
利用対象者、利用時期など施設の利用形態を検討しているか	－	該当なし
施設等の規模や設置場所、地域における他の施設との有機的な連携等、当該施設等の利用環境等について検討されているか	－	該当なし

施設の利用や運営等にあたって、女性参画への配慮や促進のための取組がなされているか	適	日光市土地改良区等において、女性農業経営者が組合員として参画しており、取組がなされている。
事業費積算等は適正か		
過大な積算としていないか	適	土地改良工事積算基準等により栃木県単価を使用し、見積書の取得においても基準を準用している。過去の工事实績・積算歩掛との比較においても過大な積算とはなっていない。
建設・整備コストの低減に努めているか	適	経済比較の基、配管の一部を橋梁添架から水管橋としコストの低減に努めている。
附帯施設は交付対象として適正か（必要性はあるか、汎用性の高いものを交付対象としていないか）	－	該当なし
備品は交付対象として適正か（汎用性の高いものを交付対象としていないか）	－	該当なし
整備予定場所は、集客の立地性、農林漁業者の利便性等、施設の設置目的から勘案して適正か	適	既存揚水機場への増設工事であるため適正である。
施設用地が確保されている又は確保される見通しがっているか	適	既存揚水機場への増設工事であるため、改めて用地確保の必要はない。
体験交流機能に加え宿泊機能を備えた施設を整備する場合には、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要領の運用（平成19年8月1日付け19企第102号農林水産省大臣官房長通知）に定める基準を満たすとともに、その必要性について十分に検討しているか	－	該当なし
交付対象は施設別上限事業費及び上限規模の範囲内か		
処理加工・集出荷貯蔵施設については、「強い農業づくり交付金実施要領」（平成17年4月1日付け16生産第8262号農林水産大臣官房国際部長、総合食料局長、経営局長通知）別記Ⅱの第1の2の（4）のウの基準に照らし適正であるか	－	該当なし
地域間交流拠点については、延べ床面積㎡当たり29万円以内かつ延べ床面積1,500㎡以内であるか	－	該当なし
地域連携販売力強化施設については、以下の内容を満たすものとなっているか。		
地域内外又は地域間の相互連携の促進のための取組がなされているか	－	該当なし

生産者の販売力強化・ブランド化等に資するために必要な施設であるか	—	該当なし
1年を通して運営される施設であるか		
6次産業化や女性参画の促進に寄与する施設であるか		
事業実施主体の負担（起債、制度資金の活用等を含む）について十分検討され、適正な資金調達計画と償還計画が策定されているか	適	事業計画については平成24年12月に、平成25年度予算については平成25年3月の市議会において議決されている。
入札方式は一般競争入札又はこれと同等の競争性のある契約方式によるなど適切なものとなっているか。一般競争入札に付さない場合は、その理由は明確か	適	入札方式は一般競争入札による予定である。
整備後において施設の管理・運営が適正に行われる見込みであるか		
維持管理計画は適正か（施設の管理・更新に必要な資金は検討済みか）	適	日光市土地改良区の下、『大室・矢野口地区パイプライン維持管理組合（仮称）』を設立する予定である。施工後は当該団体が管理する予定である。
収支を伴う施設等にあつては収支計画を策定しているか。また、事業費が5,000万円以上のものについては経営診断を受け、適正なものとなっているか	—	該当なし
他の事業との合体施行等の場合、事業費の按分等が適正に行われているか	—	該当なし
他の事業への重複申請（予定も含む。）はないか（ある場合には、事業名を記載すること。）	適	他の事業への重複申請はない。

注1 項目について該当が無い場合はチェック欄に「—」を記入すること。

2 活性化計画を公表する場合、事前点検シート及び判断の根拠となった資料についてもあわせて公表するものとする